

ひめだ高左ニユース

NO. 873

11.8.3

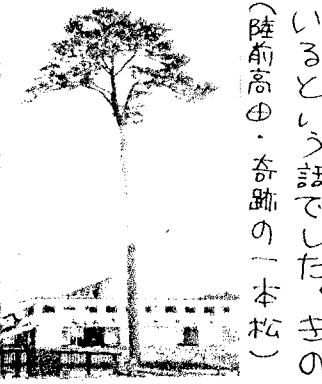
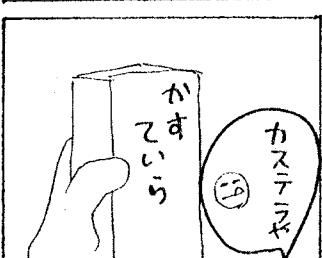
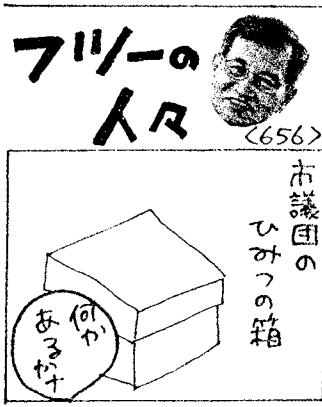
農林省の協力を得る。③農林水産省の許可を得ること。  
農林水産省の指導の下、地元に十分説明した上で、競  
馬組合、市警察とで、  
交通安全、②治安維持、  
③

青少年・④周辺美化・⑤地元雇用の各対策を協議するとしています。

市の大運動実行委員会は、反対運動の取り組みを始めました。

日本共産党のパンフレット発売中  
いよいよ定価200円/冊です。  
東日本大震災・原発災害 (A5版)  
被災地での日本共産党 64頁  
2011年6月発行

# 「原発ゼロ」の日本を (A5版) 原発事故の3つの教訓 (56夏)



Page 1 of 1

8月になりました。「節電」のなかで、今年も熱の中症により亡くなる方がでています。適当に冷房器具も使って元気にこの夏を乗り切ってください。私はひめだは先週と今週、3カ月ぶりに朝のインドマイ～宣伝を行ひ6月議会と震災地報生の如しました。

# 中止に伴う場外馬券売り場設置計画

今度は、中止に伴う場外馬券売り場の設置計画が出てきました。6月定期議会終了後に設置会社の（株）キヤンターから市へあいさつがあり、7月初めに地元商店街と地元自治会との協定を得る、②所轄する整

「田中田（金）も朝から  
陸前高田市の支援センター  
へ。陸前高田市には食堂や  
コンビニがなく、昼食は一  
駄のロハジリで弁当を頼み  
て持ってきて行きました。

本報隊報告(その3)  
集落への訪問となり、私はひめだは訪問に参加しました。橋爪海南市議が下津から調達したバレンシアオレンジを小袋に分けておみやげにしました。車で40分ほど入った山の中できれいな小川に沿ってホツンホツンとある家を訪問しました。ここは直接には津波の被害はない所です。最初の家では「ハエ」が多くて困って

うはすべての家に置いてあったペットボトルで作ったハエ取りが見当たらなかつたので、そのことを話して「作ってみたら」と勧めたところ「さっそく作ってみる」との返事でした。あと家の扉では、特別困っていることはないということでしたが、話をよく聞いてみると、しんせきや妹、息子の嫁など多くの知り合いが流されてせくなつたという方がほとんどでした。小川のほとりのお寺の前を借りて昼食をとり、帰りに写真の一本松を見て帰りました。

## 和歌山市職員採用試験案内

2012年4月1日 採用予定（年齢制限あります）

試験区分		採用予定人員	職務内容
行政職	事務職	4人	一般行政事務
Ⅲ種	土木職	1人	道路、河川、都市計画
資格免許職	社会福祉士	1人	福祉士専門
工種	保健師	2人	保健師二等
	栄養士	1人	南立、栄養指導等
資格免許職	保育士	4人	保育所
消防職Ⅲ種		4人	消防、救急
身体障害者(1~4級)宅 地係員(一般行政職)		1人	一般行政事務
学芸員[日本考古学]		1人	発掘調査等

受付期間 8月16日(火)・17日(水)

兩日とも午前8時30分～午後5時30分まで  
郵送は8月17日の消印有効

提狀 場所  
問い合わせは 和歌山市七番丁23番地  
和歌山市人会事務局  
TEL 435-1371

第一回出稿日は 9月18日(日) 東立出版社敬上

（火）まで終止で、「核兵器のない平和で公正な世界」をめざし、原水爆禁止20周年世界大会が開かれ和歌山県の代表団の一員として、松坂みちみ先生講師が参加します。

被爆66周年の今年は、3月11日の東日本大震災により福島第一原発から放射能の流出・飛散が続く中での

大会となります。世界大会は、被災地の救援、復興の努力と連携しながら、人づくりが協力し、安心して暮らせる世界を創るために、世界の平和運動、非同盟や核地帯の政府、国連などの代表と日本の草の根の代表が一緒に行動を考えます。

今年も市の職員のみなさん  
にも代表派遣募金をお願い

## 手平で議会・被災地報告

しんぶん  
新聞

赤旗日刊紙  
3400円/月(9月~)  
購読のお願い  
九四三四電力のやらせメール  
問題などスクープを発出  
購読料で発行するため  
「真実の報道」ができます。  
申しこみは、ひめだまで!

# 日本共産党

志位和夫委員長がひときわめ説したのが、原発利権をめぐる「原子力村ペントゴン」の告発。ペントゴンは五角形をしているアメリカ国防省の建物。政・官・財・マスコミ・御用学者のら者が原発の大利権に群がり、国民に原発危機を押しつけたのです。

志位さんは、リベラル派と思われていた朝日新聞が、原発広告の金に毒された経緯を告発し、今も原発反対集会を無視し続けてる姿勢も示して「猛省を求めたい」と批判しました。もちろん、「読売」も「毎日」も原発広告欲しさから電力資本に毒されてます。

読者の投稿  
短歌 勝田鉄也

ヶ月29日(金)夜、手平の日本共産党生活相談所で宮前後援会が私、ひめだの6月定期市議会と被災地救援活動の報告会を開いてくれました。

い防災無線の改善について  
の一般質問と景観条例について  
いて話しました。被災地救  
援活動では、現地の写真や  
新聞記事などを見せながら  
報告しました。参加してい  
ただいたみなさんに感謝。